

平成 27 年度 日本薬局方教科担当教員会議 議事録

日時 平成 27 年 11 月 7 日 (土) 13:00~16:00
場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス (〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1)
会議： コアステーション 2 階 大会議室
情報交換会： リンクスクエア 2 階 生協カフェテリア
出席者 62 校 65 名 (別紙の通り)

議事 (敬称略)

今年度委員長校である立命館大学薬学部・藤田卓也より開催の挨拶のあと、以下の内容で議事を進行した。

1. 参加者の自己紹介

委員長校より本会議に参加の先生方に対して、大学での講義・実習担当科目、日本薬局方と担当科目との係わり、新コアカリを実施するにあたり日本薬局方の内容を貴大学で講義・実習等で組み込んでいくための取り込みを自己紹介も含めて 1 分程度でお話していただくようメールにて事前に連絡をしていた。これに従い、各参加者より紹介があった。会議参加者は、約半数が分析・物理化学系、1/3 が薬剤系、他が有機系・生物系の先生方であった。

「日本薬局方 (概論)」を講義科目として採用している大学は、参加大学の半分弱であり、その他は分析化学、製剤学などの科目でコアカリ SBOs に相当するところを講義している大学も多かった。また、改訂モデルコアカリでは、「日本薬局方 (概論)」を講義科目から無くす大学も 10 校程度あり、薬学を学ぶ学生に日本薬局方の歴史的な経緯や重要性を提示できる講義時間数が少なくなっているとの報告も多かった。

2. 第 100 回薬剤師国家試験問題の評価、改訂モデル・コアカリキュラムにおいて「日本薬局方」との係わり 立命館大学薬学部 藤田卓也 (資料別添)

薬剤系、物理・化学系とも日本薬局方と直接関連した国家試験の出題数は、ここ数年減少傾向である。薬剤系では、物理薬剤・製剤分野で 4 題出題があったが、内容としては製剤総則、一般試験法からに加え、局方参考情報に記載されている内容の出題もあった。一方、物理・化学系では、通則にかかわる問題があるものの、確認試験・純度試験にかかわる内容の出題はなかった。化学の問題は局方収載品を題材とした出題が数多くあった。

改訂モデル・コアカリキュラムでは、旧モデル・コアカリキュラムと同様に「日本薬局方」が単独で項目立てされておらず、C2「化学物質の分析」、C5「自然が生み出す薬物」、E1「薬物の作用と体の変化」、E5「製剤化のサイエンス」で散見される形で触れられている。そのため、自己紹介であったように「日本薬局方 (概論)」が単独で講義科目として採用されなくなる大学が増えている。また、E5「製剤化のサイエンス」では、通則、製剤総則、一般試験法などを含めて学ぶ必要があると思われるが、どの SBOs にも「日本薬局方」の記載が

ないことは大きな問題である。

3. 平成 29 年度委員長校の選出について

次回（平成 28 年度）は帝京大学（中込先生）が委員長校となることが既に決まっている。平成 29 年度は徳島文理大学（櫻井先生）を委員長校として推薦したいとの提案があり、これを承認した。

4. 特別講演（資料別添）

京都大学大学院薬学研究科 橋田 充 先生による特別講演が行われた。テーマは、「第 17 改正日本薬局方と最近の薬事行政をめぐる話題」であった。橋田先生は、厚生労働省 薬事・食品衛生審議会長や日本薬局方部会長を務めており、来春告示される「第 17 改正日本薬局方」に関して改正点の概要、日本薬局方部会の下に新しく設置された西方問題検討小委員会の役割などを紹介された。

講演の後半では、薬事・食品衛生審議会・薬事分科会の下に設置されている要指導・一般用医薬品部会で議論されてきた OTC 薬のネット販売をめぐる話題、「先駆け審査指定制度」の運用に関する最近の話題、厚生労働省以外の省庁と医薬品産業、健康・医療政策とのかかわりに関して照会された。さらに、日本学術会議における薬学教育に関する報告書の紹介、文部科学省に属する薬学系人材養成の在り方に関する検討会報告を紹介された。

5. 情報交換会

参加者のうちおよそ 50 名が出席し、リンクスクエア 2 階 生協カフェテリアにて情報交換会を行った。

薬学教育協議会 平成 27 年度 日本薬局方教科担当教員会議

日時 平成 27 年 11 月 7 日 (土) 13:00~17:30 (12:30 ~ 受付)

場所 立命館大学びわこ・くさつキャンパス コアステーション 2 階大会議室

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1 丁目 1-1

URL: <http://www.ritsumei.jp/campusmap/pdf/bkc-campusmap2015.pdf> (campus map)

http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_bkc_j.html (access map)

(1) 会議 13:00 ~ 14:50

1-1 開会の辞

委員長校 藤田 卓也

1-2 参加者の自己紹介

1-3 日本薬局方と第 100 回国家試験出題内容、新モデル・コアカリキュラムについて

1-4 その他の協議事項

平成 29 年度委員長校の選出

(平成 28 年度は帝京大学)

(休憩)

(2) 特別講演 15:00 ~ 16:00

「第 17 改正日本薬局方と最近の薬事行政に関する話題」

京都大学大学院薬学研究科 橋田 充 先生

(薬事・食品衛生審議会 薬事分科会長、日本薬局方部会長)

(3) 情報交換会 16:00 ~ 17:30

ユニオンスクエア (生協食堂) 2 階

平成 27 年度日本薬局方教科担当教員会議出席者

	大学名	参加者(敬称略)	講座・研究室名	職位
1	北海道大学		欠席	
2	北海道医療大学		欠席	
3	北海道薬科大学	高梨 香織	医薬化学分野	准教授
4	青森大学		欠席	
5	岩手医科大学	藤本 康之	分子生物薬学	准教授
6	東北大学	根東 義則	分子変換化学	教授
7	東北薬科大学	町田 浩一	薬学教育センター	教授
8	奥羽大学	鈴木 康裕	物理化学	准教授
9	いわき明星大学	住谷 賢治	臨床薬学部門	講師
10	国際医療福祉大学	井尻 聡一郎	薬品分析学	講師
11	高崎健康福祉大学	荻原 琢男	生物薬剤学	教授
12	城西大学	新津 勝	生体分析学	教授
13	日本薬科大学	荒井 健介	物理系薬学分野	准教授
14	千葉大学	東 颯二郎	製剤工学	助教
15	東邦大学		欠席	
16	日本大学	伴野 和夫	薬剤学研究室	教授
17	東京理科大学	佐野 明	有機分析化学	講師
18	千葉科学大学	仁藤 慎一	薬学総合教育	講師
19	城西国際大学	二村 典行	製剤物性解析学研究室	教授
		奥山 恵美	生薬学研究室	教授
20	帝京平成大学	岩木 和夫	薬局機能評価学	教授
21	東京大学	三田 智文	医療薬学教育センター	教授
22	北里大学	本間 浩	生体分子解析学教室	教授
23	慶應義塾大学		欠席	
24	昭和大学	荒川 秀俊	臨床分析化学部門	教授
25	星薬科大学	斉藤 貢一	薬品分析化学教室	教授
	星薬科大学	小幡 誉子	薬剤学教室	講師
26	東京薬科大学	緒方 正裕	薬学教育推進センター	講師
	東京薬科大学	一柳 幸生	天然医薬品化学教室	准教授
27	明治薬科大学	下川 健一	薬学教育研究センター	准教授
28	武蔵野大学	棚元 憲一	環境衛生学	教授
29	昭和薬科大学		欠席	
30	帝京大学	中込 和哉	医薬品分析学研究室	教授
31	横浜薬科大学	宇佐美 英治	臨床薬学	教授
32	新潟薬科大学	大和 進	薬品分析化学	教授
33	富山大学	清水 貴浩	薬物生理学	准教授
34	金沢大学	松下 良	臨床薬物情報学研究室	教授
35	北陸大学	東 康彦	生体環境薬学講座	准教授
36	岐阜薬科大学		欠席	
37	静岡県立大学		欠席	
38	名古屋市立大学		欠席	
39	名城大学	武田 直仁	学生実習部門	准教授
40	金城学院大学	水谷 秀樹	実務医療薬学分野	教授

	大学名	参加者(敬称略)	講座・研究室名	職位
41	愛知学院大学	浦野 公彦	臨床薬物動態学	講師
42	鈴鹿医療科学大学	垣東 英史	臨床薬学センター	教授
43	立命館大学	藤田 卓也	分子薬物動態学研究室	教授
		河野 裕允		助教
44	京都大学	橋田 充	薬品動態制御学分野	教授
45	京都薬科大学	栄田 敏之	薬物動態学分野	教授
46	同志社女子大学	谷本 剛	医薬品分析学研究室	教授
47	大阪大学	欠席		
48	大阪薬科大学	欠席		
49	近畿大学	中村 武夫	教育専門部門	教授
		多賀 淳	病態分子解析学	准教授
50	摂南大学	片岡 誠	薬剤学研究室	講師
51	大阪大谷大学	村上 正裕	薬剤学研究室	教授
52	神戸学院大学	平野 裕之	分析化学研究室	
53	神戸薬科大学	寺岡 麗子	製剤学研究室	准教授
54	兵庫医療大学	西山 信好	医療薬学教育	教授
55	武庫川女子大学	欠席		
56	姫路獨協大学	中村 任	薬剤学研究室	教授
57	岡山大学	大河原 賢一	生物薬剤学	准教授
	就実大学	古林 呂之	薬物動態学	講師
59	広島大学	横大路 智治	病態解析治療学	助教
60	安田女子大学	形部 宏文	臨床薬学	教授
61	福山大学	井上 裕文	臨床分析学	准教授
62	広島国際大学	児玉 頼光	薬物生体分析学	准教授
63	徳島大学	欠席		
64	徳島文理大学	櫻井 栄一	薬剤学	教授
65	徳島文理大学香川薬学部	欠席		
66	松山大学	湯浅 宏	製剤学研究室	教授
67	九州大学	宮本 智文	医薬細胞生化学	准教授
68	第一薬科大学	横山 さゆり	薬品化学分野	准教授
69	福岡大学	吉田 秀幸	薬品分析学(臨床分析学講座)	准教授
70	長崎大学	麓 伸太郎	薬剤学教室	准教授
71	長崎国際大学	大庭 義史	薬品分析化学	教授
72	熊本大学	小橋川 敬博	生命分析化学	准教授
73	崇城大学	山崎 啓之	医療薬剤学	教授
74	九州保健福祉大学	鈴木 彰人	臨床薬学第III講座	教授